

**製品名: BRD2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81807**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BRD2
別名	FSH; NAT; RNF3; FSRG1; RING3; D6S113E; O27.1.1
遺伝子 ID	6046.0
SwissProt ID	P25440
免疫原	大腸菌で発現したヒト BRD2 (AA: 227-364) の精製された組み換え断片。

**背景**

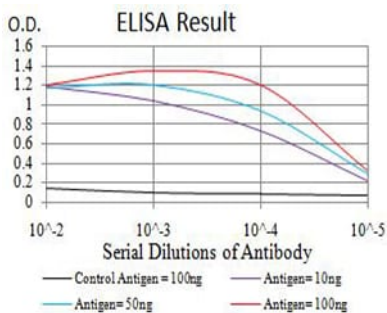
この遺伝子は、BET（プロモドメインおよびエクストラターミナルドメイン）タンパク質ファミリーに属する転写制御因子をコードしています。このタンパク質は、有糸分裂中に転写複合体およびアセチル化クロマチンと会合し、2つのプロモドメインを介してヒスト

ンH4のアセチル化リジン 12 残基に選択的に結合します。この遺伝子は染色体 6p21.3 の主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) クラス II 領域にマッピングされますが、配列比較から、このタンパク質は免疫応答に関与していないことが示唆されています。この遺伝子は、思春期に発症する一般的なてんかんの一種である若年性ミオクロニーてんかんと関連が示唆されています。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングバリエントが報告されています。

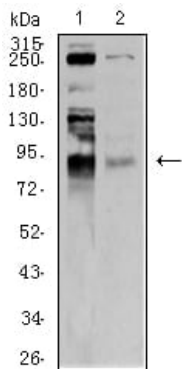
## 研究分野

-

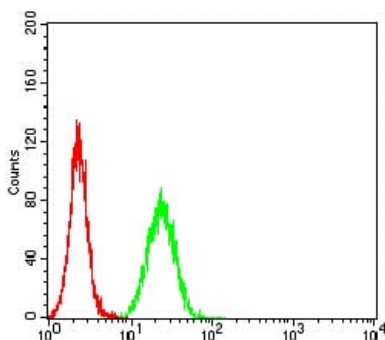
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C6 (1) および HeLa (2) 細胞溶解物に対する BRD2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



BRD2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。